

平和構築と紛争予防月間 リソースのご案内 (Peacebuilding and Conflict Prevention Month)

*タイトルにリンクが設定されていますのでクリックしてリンク先ご参照下さい。

< [RI ページ](#) >

➤ [平和の推進](#)

ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じ、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動を起こしています。

平和の推進におけるロータリーの 4 つの役割

ロータリーとロータリー会員が担う役割：

実践者：疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展といった分野でのロータリーの活動は、平和な社会への最適な条件を作り出します。

教育者：ロータリー平和センターは、効果的な平和の推進者となる 1,700 人の平和フェローを育成してきました。

卒業したフェローは、政府、教育、国際機関などで平和分野のキャリアを築いています。

調停者：ロータリー会員は、ポリオの脅威にさらされた地域のすべての子どもにワクチンを投与するため、紛争地域における人道的停戦の交渉を行ってきました。

提唱者：ロータリー会員は、平和構築や紛争後の復興プロセスに積極的にかかわり、重要な役割を果たしています。

➤ [ロータリー平和フェローシップ](#)

平和は「人」から始まると考えるロータリーは、毎年 130 口までの平和フェローシップ(奨学金)を通じて、世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。

➤ [奉仕プロジェクトセンター](#)

奉仕プロジェクトセンター(旧ロータリーショーケース)では、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報を掲載・閲覧することができます。

➤ [ロータリー行動グループ](#)

ロータリー行動グループは、クラブが地域社会を強化するための持続可能かつ効果的な奉仕プロジェクトを立案するのを支援します。プロジェクトの計画と実施に関してクラブに助言を与え、パートナーや資金、リソースを探す手助けをしてくれます。

➤ [パートナー](#)

より効果的で持続可能性の高いプロジェクトを計画するため、ロータリーのパートナーとクラブが協力することができます。このページではロータリーのパートナーとなっている団体を紹介しています。

< ラーニングセンター >

本月間に関連するコースもございますので、詳細は[ラーニングセンターコース一覧](#)をご確認ください。

< 各種資料 > 印刷物の販売、取り扱いは終了となっておりますので、電子ファイルをご活用ください。

～ 重点分野関連 ～

➤ [ロータリーの重点分野](#)

各重点分野のプロジェクト計画に関するヒントをご紹介します。

💡 [当分野でのグローバル補助金プロジェクトをお考えの方へ](#)

» [重点分野の基本方針](#)

» [「平和と紛争予防／紛争解決」グローバル補助金 授与のガイドライン](#)

➤ [「平和を築くロータリー」のプレゼンテーション](#)

このプレゼンテーションは、ロータリーの「平和の推進」ページのリソース欄にある「平和を築くロータリー」のパンフレットに付随して作成されたものです。これらのリソースには、平和構築と紛争予防の重点分野におけるロータリーの平和構築プログラム、活動、イニシアチブの概要が記載されています。このプレゼンテーションは内容をカスタマイズすることができます。

～ ロータリー平和フェロースhip関連 ～

➤ [ロータリー平和フェロースhip申請に関するお知らせ\(PDF\)](#)

➤ [ロータリー平和フェロースhip申請に関する重要な日程\(英語のみ\)](#)

< ウェブ特集記事 >

➤ [分断ではなく平和の連鎖を](#)

私はロータリー平和フェローとして、2010年～2011年にクイーンズランド大学(オーストラリア)の大学院国際政治学部で平和・紛争解決コースに参加しました。フェロースhip(全額支給の奨学金)を通じて、大学での授業はもちろん、実地体験(AFE)として3カ月にわたる国際組織でのインターン、平和学に資するスタディーツアー、学会発表への参加、受入国オーストラリアでの多様な人びととの交流など、平和を学ぶために有益な機会をたくさんいただきました。

(2025年1月、ロータリーボイスより)

➤ [ロータリー平和フェローが見たウクライナ](#)

私は大学を卒業してからは、日本のNGO職員として、ラオスとカンボジアで農業や教育支援、平和構築の事業を調整する仕事をしていました。やがて、もっと専門性を高めて多国籍の人たちと共に国連で働きたい、と思ったその時、ロータリーの奨学金のことを知り留学が実現しました。

(2025年1月、ロータリーボイスより)

➤ [2025年ロータリー会長主催平和会議](#)

2025年ロータリー会長主催平和会議は、2025年2月20日～22日トルコのイスタンブールで開催されます。定員に達したためチケットはご購入いただけませんが、出席にご関心のある方は[ウェイティングリスト](#)にお名前を追加できます。

➤ [国境を超えた対話:韓日親善を通じて平和を築く](#)

日本と韓国のロータリアンはこれまで40年以上にわたり、両国間の理解と友好を深め、平和を築くことを目的に韓日親善会議(日本が開催国の場合は「日韓親善会議」)を開催してきました。新型コロナウイルスのパンデミックで4年間中断されていましたが、2024年10月24日・25日、ソウルで第16回韓日親善会議が開催され、日本から約220人のロータリアンが参加しました。

(2024年12月、ロータリーボイスより)

➤ [核廃絶に取り組む元ロータリー交換留学生](#)

オーストラリア南西部の小さな町のはずれにあるリンゴ畑で育ち、飛行機に乗るどころか、州外にも出たことのなかった私にとって、ロータリー交換留学生としてのフランス留学は大冒険でした。

(2024年10月、ロータリーボイスより)

➤ [会長主催会議で平和推進におけるロータリーの力に焦点を当てる](#)

「ロータリーは、世界理解、親善、平和推進という原則の下に設立された団体です。平和を推進することは、私たちの責任なのです」。こう話すアーチック氏は、平和推進という主題を会長年度の焦点としています。

(2024年7月、ニュース・特集記事より)

➤ [平和の力を広げるレバノンのクラブ](#)

アンハル・コザヤさん(22)は、レバノンのほかの若い社会人たちと同じく、問題を抱えたこの国を逃れようとしていました。今レバノンが抱えている問題は、戦争ではなく、経済危機によって国内にはびこる貧困や社会不安、公共サービスの崩壊です。

(2024年2月、ニュース・特集記事より)

➤ [ロータリー積極的平和アクティベーターとつながろう](#)

2017年、国際ロータリーと[経済平和研究所\(IEP\)](#)は、積極的平和につながる要素を枠組みとしてロータリー会員の知識とスキルを高めるための[パートナーシップ](#)を結びました。

[ロータリー積極的平和アクティベータープログラム](#)は、このパートナーシップによるラーニングプログラムであり、2020年の開始以来、北米、中南米、アジア、ヨーロッパ、東アフリカ、西・中央アフリカで212名が修了してきました。

(2024年2月、ロータリーボイスより)

➤ [平和の触媒を育てる](#)

数年前、調停と紛争解決の制度を整えるための司法改革を担う人を探していたサウジアラビア政府は、ある問題に直面しました。「悲しいことに、アラビア語を話せるこの分野の専門家が見つからなかったのです」。こう語るのは、エジプト出身のロータリー平和フェロー、シェリフ・エルネガヒーさんです。

(2024年2月、ニュース・特集記事より)

➤ [トルコに新たなロータリー平和センターが開設](#)

イスタンブール(トルコ)にあるバーチェシェヒル大学(Bahçeşehir University)にロータリー平和センターが新設されることに伴い、来月、平和フェロー候補者の募集を開始します。

(2024年1月、ニュース・特集記事より)

➤ [平和というレガシー](#)

デーブ・ハミルトンさんには、平和のビジョンがありました。ロータリーと国境を越えた調停者たちとの協力関係を知って以来、彼はこのグループを自分の地区に招き、人びとが困難な問題に対処し、新しい方法で紛争に取り組む方法を学べるようにしたいと考えていました。

(2023年8月、ニュース・特集記事より)

➤ [ロータリーとの出会いで羽ばたいた環境志向の元奨学生](#)

2005年、[平和部隊](#)の2年任務の半ばにあったクリスティン・ウェグナー・ギルフォイルさんは、友人の結婚式に出席するために故郷の米国イリノイ州に帰省し、そこで「運命の出会い」をしました。

(2023年8月、ニュース・特集記事より)

➤ [アフガニスタン元留学生の命を救え！](#)

日本はアフガニスタン復興支援として、祖国の将来を担う若者への教育支援を行い、日本政府国費による留学や国際協力機構(JICA)の協力で数多くのアフガニスタン人が日本の大学で学びました。

(2023年1月、ロータリーボイスより)

➤ [母の夢](#)

私は、パレスチナ出身のロータリー平和フェローです。母は1948年に家族とともに難民となり、父の村でも1967年に村民全員が避難を余儀なくされました。私の家族の半分近くがパレスチナ難民です。

(2020年4月、ロータリーボイスより)

■ Rotary ニュース・特集記事ページは» [こちら](#)

■ Rotary Voice ページ(日本語)は» [こちら](#)

～その他の記事紹介～

[平和を築く 差別と迷信に立ち向かう](#)

[柔の道でスラムから抜け出す 最前線での教育](#)

[家庭内暴力の撲滅に向けて](#)

[平和フェローから国際的な人権擁護者へ](#)

[Healing scars of war\(英語のみ\)](#)

[Interactor from Brazil combats a deadly online](#)

[game\(英語のみ\)](#)

< 映像資料 >

➤ [世界難民映画アカデミーでのアートを通じた平和構築](#)

ウガンダのナキヴァレ難民居住区に住むコンゴ難民のローターアクター、セドリック・ピチャーノさんは、アートを通じて若者がトラウマを克服できるよう映画学校を設立しました。セドリックさんは最近、コフィ・アナン財団から「ゲーム・チェンジャー」に選ばれました。 [日本語字幕、5分18秒]

➤ [女性を対象とした識字・金融研修\(ネパール\)\(90秒\)](#)

フェアトレードの製品とサービスを提供する非営利団体「Seven Women」は、ネパールの女性たちのエンパワメントを目指して、メルボルン・ロータリークラブ(オーストラリア)会員のステファニー・ウラードさんと元ロータリー平和フェローによって2006年に設立されました。 [日本語字幕、1分24秒]

➤ [平和構築者たちのエコシステム\(アフリカ\)マケレレ大学の平和センター](#)

マケレレ大学ロータリー平和センター(ウガンダ、カンパラ)。 [日本語字幕、3分31秒]

➤ [難民の再定住支援\(カナダ\)](#)

アマー・ロータリークラブ(カナダ)は、地元の教会と協力して、シリア内戦から逃れてカナダに移住したシリア難民の6人家族を支援しています。 [日本語字幕、3分31秒] 関連記事:[安住の地を求めて8,000キロ](#)

➤ [小規模農家の収入増加支援\(タイ\)](#)

スペンサー・レオンさん(2013年平和フェロー、Go Organics創設者)が、経済発展を通じて収入の不平等に取り組み、平和を築くという使命について語りました。 [日本語字幕、2分36秒]

➤ [女性のための職業研修\(ネパール\)](#)

ロータリー平和フェローのステファニー・ウラードさんは、女性による女性のための持続可能な団体を設立しました。 [日本語字幕、3分48秒]

➤ [平和フェローシップで実現できること](#)

ロータリー平和フェローが、世界各地の地域社会で変化をもたらすにあたって、プログラムで学んだことをどのように生かしているかを紹介します。 [日本語字幕、2分24秒]

➤ [少年犯罪から生産的な生活へと若者を導く\(カナダ\)](#)

2009年、PACT平和プログラムによって一人の若者が刑務所送りを免れました。9年後、彼は大きく成長しました。カナダ・トロントの30のロータリークラブが実施するプログラムです。 [日本語字幕、3分31秒]

■ Rotary YouTube ページは» [こちら](#)

■ 利用規約は» [こちら](#)